

第3学年**科 平成*年*月*日 (* ) 第*校時		国語科学習指導案				
		**教室		指導者 堀 美智子		
育成する国語の能力	課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方を工夫して話し合うこと					
単元名	グループで話し合いながら課題を解決し、話し合いの仕方を学ぶ					
単元目標	<p>○課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方を工夫して話し合おうとする。            (関心・意欲・態度)</p> <p>○課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方を工夫して話し合うことができる。            (話す・聞く能力)</p> <p>○文章に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、理解することができる。            (読む能力)</p> <p>○言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めることができる。            (知識・理解) ([伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]「国語表現」内容の(1)の力)</p>					
単元の評価規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	読む能力	知識・理解		
	課題を解決したり考えを深めたりするために相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方を工夫して話し合おうとしている。	課題を解決したり考えを深めたりするために相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。	文章に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、理解することができる。	言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めている。		
取り上げる言語活動	反論を想定して発言したり疑問点を質問したりしながら、課題に応じた話し合いや討論などを行うこと。					
題材(教材)	<p>○「折り紙の夢」</p> <p>○のりもはさみも使わないで、正四面体(正三角錐)を作る課題</p>					
単元(教材)について	<p>(1) 生徒観: コミュニケーション能力に自信がない生徒や、コミュニケーション能力はどういうことかということをまだ理解していない生徒が多い。</p> <p>(2) 教材観: 教材文は人間、社会、自然などについての考察が論理的に書かれており、論の展開に沿って筆者の考えを読み取るのに適している。また、のりもはさみも使わないで、正四面体(正三角錐)を作る課題は、グループで協力して一つのものを作るという実の場に近い環境で学ぶことができ、実際に社会人として求められるコミュニケーションを取りながら、その場にふさわしい行動を考えることができる。</p> <p>(3) 指導観: 教科書教材の読解を通して、課題解決のための話し合いの仕方を身に付け、実際に社会に出てから求められるコミュニケーション能力についての生徒の理解を深める。また、のりもはさみも使わないで、正四面体(正三角錐)を作る課題を設定し、ものづくりの現場に出る前の練習の場として、生徒一人一人が課題を見つけることができる。</p>					
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価			
	<p>第1次(4時間)</p> <p>○評論「折り紙の夢」を読み、日本人の文化と創造力について理解する。</p>		<p>○文章に現れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間、社会、自然などについて考察し、理解している。            (読む能力)</p> <p>○課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考え方を尊重しようとしている。            (話す・聞く能力)</p>			
	<p>第2次(3時間)</p> <p>○課題解決のために必要なコミュニケーション能力についてグループで話し合い、社会人として求められるコミュニケーション能力とは何かを理解する。</p> <p>○のりもはさみも使わずに、正四面体(正三角錐)を作るという課題を、グループで話し合いをしながら解決する。</p>		<p>○課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考え方を尊重し、表現の仕方や進行の仕方を工夫して話し合っている。            (話す・聞く能力)</p> <p>○言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深めている。            (知識・理解)</p>			

本 時 案 (第5時)		
本時の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決のために必要なコミュニケーション能力についてグループで話し合う。 (話す・聞く能力)</li> <li>○言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などについて理解を深め、社会人として求められるコミュニケーション能力について理解を深めている。 (知識・理解)</li> </ul>	
学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 社会人として求められる課題解決のためのコミュニケーション能力とは何かについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○考える手掛かりとして、経済産業省が提唱している「社会人基礎力」と「トヨタの問題解決」の抜粋を提示し、望ましいコミュニケーション能力のモデルを示す。</li> <li>○ワークシートを用意し、すぐに書き込むことができるようする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会人として求められるコミュニケーション能力について考えている。 (観察、ワークシート) (知識・理解)</li> </ul>
課題解決のための望ましい話し合いの仕方を考える。		
2 4人1組でグループを作り、課題解決のためのコミュニケーション能力について話し合って、意見をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○それぞれの意見を尊重しながら、より望ましい意見を考え、グループで1つの意見をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決のために必要なコミュニケーション能力とは何かということについて、グループで話し合う。 (活動の観察) (話す・聞く能力)</li> </ul>
3 各グループの意見を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全てのグループの意見を板書し、クラス全体で共有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的や場に応じて、効果的に聞き取っている。 (活動の観察) (話す・聞く能力)</li> </ul>
4 各グループの意見を比較しながら、クラス全体で課題解決のためのコミュニケーション能力について考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各グループの意見で共通しているものを指摘し、課題解決のためのコミュニケーション能力の共通理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会人として求められるコミュニケーション能力とは何かを正しく理解することができる。 (活動の観察) (知識・理解)</li> </ul>
5 課題解決のためのコミュニケーション能力を意識して、積極的に話し合いをしながら課題を解決する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のりもはさみも使わずに、正四面体（正三角錐）を作るという課題を示す。</li> <li>○課題解決のためにどのように話し合っていくかという点について、各グループで目標を立ててから始めるように指示する。</li> <li>○インターネットや書籍などの参考資料は使わない。</li> <li>○早く正四面体（正三角錐）ができたグループは、自分たちがどのように正四面体（正三角錐）を作ったのか、クラス全体にプレゼンテーションを行って作り方をクラスで共有するための説明の仕方を考える。</li> <li>○正四面体（正三角錐）の作り方の説明も考えたグループは、のりもはさみも使わずに正六面体（正四角柱）を作るよう指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方を工夫して話し合っている。 (活動の観察) (話す・聞く能力)</li> </ul>